

三〇

142

勅授

昭和十七年十月五日  
一九二七

立案 昭和十七年十月一日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故海軍少將山田雄二位階追陞ノ件

昭和十七年九月三十日裁可八月三日達  
臺帳記入月 日官報報告濟

宮内省

裏面白紙

267





故海軍少將山田雄二位階追陞、件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年九月三十日

内閣總理大臣東條英機



内閣

裏面白紙

人登第八九號

案起 昭和十七年九月三日

裁可 昭和十七年九月三日 施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故海軍少將山田雄二位階追陞

辭令案

列文

八月二十八日付

内閣

269



海軍少将ハ九

叙従四位 昭和十七年八月二十八日死亡 故海軍少将正五位 山田 雄 二

大正八年八月一日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十七年九月二十九日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



海軍

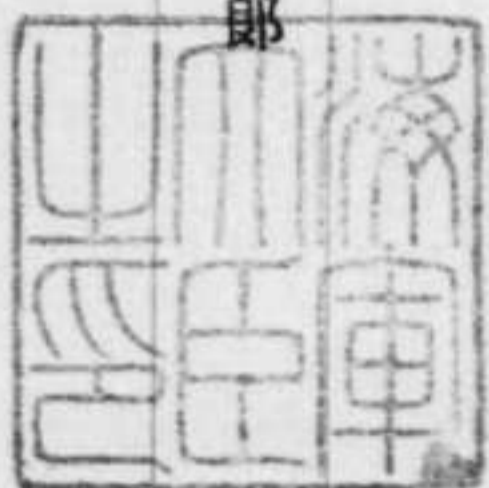


官報  
不登載

海秘人第一〇〇八號

昭和十七年九月二十九日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 東條 英機 殿

故海軍少將山田雄二ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處西南太平洋方面ニ於テ作戰ニ從事中八月二十八日戦死候ニ付テハ特ニ位一級被追陞度別紙上奏

海軍

書進達ス

(終)

17.9.30  
付受

271

裏面白紙

丙  
一七〇號

一故海軍少將正五位山田雄二

右八月廿八日付特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付位記  
竝辭令及回送候條傳達方御取計有之度候也

昭和十七年十月十五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣 嶋田繁太郎 殿

宮内省

二號異紙

272